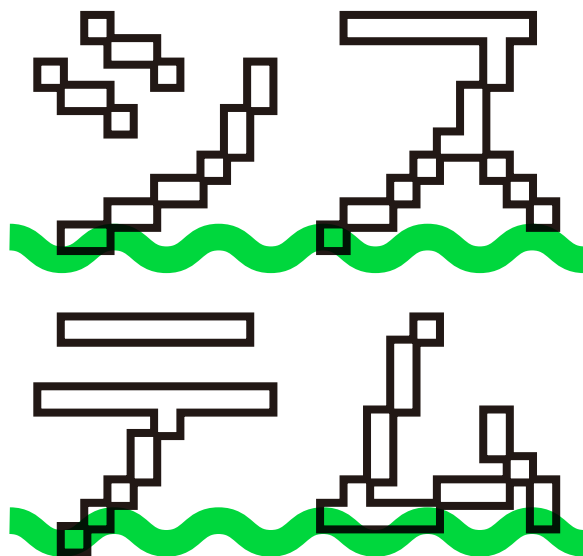


国立大学法人
東海国立
大学機構

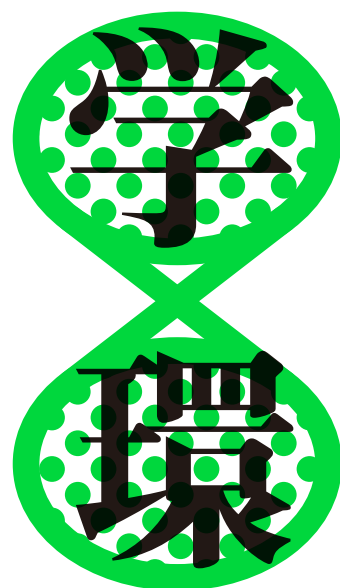
岐
阜
大
学

社
会



経
営

SCHOOL OF
SOCIAL SYSTEM
MANAGEMENT



探求と探究、

「学び」を

「環」にする。

社会のしくみが大きく変化する時代。

未知の価値観へ自在にシフトする人になろう。

激動の現場から学び、みちを求め、究めよう。

多様な学びを「環」にしてこれからの社会をつくろう。

社会システム経営学環は
学部相当の教育組織です

社会システム経営学環とは？

WHAT IS SCHOOL OF SOCIAL SYSTEM MANAGEMENT

令和3年4月、岐阜大学に、“社会システム経営学環”が新設されました。“社会システム経営学環”では経営にイノベーションをもたらし、豊かな社会の創造、活力ある社会システムの実現に貢献できる、実践的な能力を修得した人材の育成を目指します。

岐阜大学の総合大学という強み、そして同じ東海国立大学機構である名古屋大学との連携を活かし、「経営」をコアにしながら、学部・大学横断的な学修をすることができます。教室の講義で身に付けた専門知識を

「ビジネス」「まちづくり」「観光」に関するプロジェクト型実習の中で実際に活用し、その学びをまた教室に持ちかえる、を繰り返すことで、より深い実践的な学修ができます。さらに、様々な立場の人と協力しながらプロジェクトに取り組むことで、現実の問題を解決する力を養えます。

社会システム経営学環は、いわゆる学部の枠を超えて、他学部、他大学、そして社会との連携の中で、学生と教員が一緒になって成長する「学び」の「環(わ)」です。

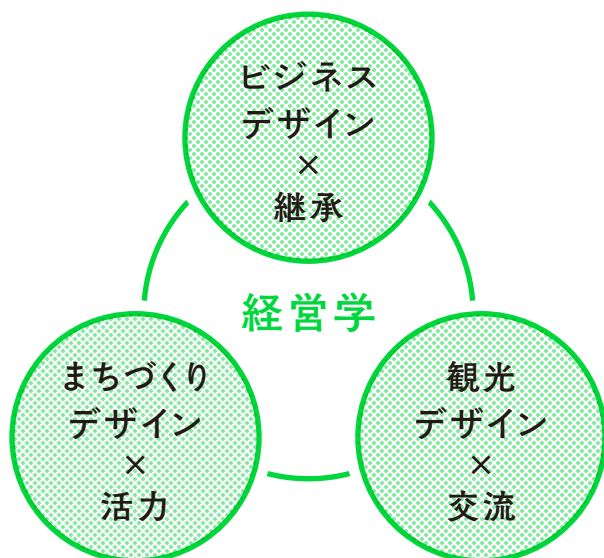
岐阜大学が目指す「新しい経営」とは？

地域が抱える課題は、ビジネスやまちづくり、観光など、経済活動や生活を支える様々な分野に存在しており、今後さらに深刻化すると予想されています。複雑かつ多様化する地域課題に対して、多面的にモノゴトの本質をとらえ、新たな発想と実践によって問題を解決する能力をもつ人材が求められています。

そこで岐阜大学では、ビジネス・まちづくり・観光を中心にして、多面的思考、マネジメント思考等を身につけて、企業、自治体、各種団体などを対象に的確な経営判断ができ、経営にイノベーションをもたらし、豊かな社会の創造、活力ある社会システムの実現に貢献できる、実践的な能力を修得した人材を養成します。

[3つのプログラムを開設]

3つのプログラムは、社会システム経営学環の専任教員および教育へ参画する連携協力学部(地域科学部、工学部、応用生物科学部)の教員および施設により行われます。



[特色ある教育]

[1] 地域課題に対応した教育

主としてビジネス・まちづくり・観光に関するプログラムを通して地域社会に貢献できる人材を育てます。

[2] 岐阜大学の学部を横断

学部横断的なカリキュラムで幅広く、他学部の学生とともに学ぶ機会もあります。

[3] アクティブ・ラーニング

学生30名(1学年)に対して、教員14名体制により、意欲的な学びを支援する各授業での自らが主体的に取り組む教育を導入します。

[4] 学びと実践を往還する教育(往還型教育)

講義と現場での実習を繰り返す、理論と実践を定着させる往還型の教育で課題解決能力を身につけられます。

[5] 学び場は実社会

実習では企業や自治体の現場を対象とし、実社会の現場で活躍する人々と対話しながら実践的な経験を多く積むことができます。

01 履修科目と学年ごとの履修イメージ

1 履修科目

教養科目

初年次セミナー、人文科学、社会科学、自然科学、岐阜学、英語、言語と文化、スポーツ・健康科学、社会人リテラシー、数理・データサイエンス・AI

専門基礎科目

現代経済学、会計学、行政法、財政学、技術表現法、情報処理演習、応用英語Ⅰ～Ⅳ
マネジメント活動実習(企業編・観光・まちづくり編)(フィールドワーク入門)、社会システム経営入門、社会システム経営実践、コミュニケーションデザイン論、企業論、経営組織論、マーケティング論、アントレプレナーシップ基礎、経営倫理

専門科目

必修科目

組織リーダー論、簿記論、オペレーションズリサーチ、アントレプレナーシップ論、実践コーポレートガバナンス、実践マーケティングリサーチ、実践人的資源管理、都市形成史(産業史)、認知心理学、デザイン思考基礎・実践、プロジェクトマネジメント基礎・実践、経営戦略論、財務諸表分析、リスクマネジメント基礎・実践、組織行動論、専門演習Ⅰ～Ⅳ、卒業研究

選択必修科目・プログラム指定の選択科目

[1] ビジネス×継承デザインプログラム

[選択必修] ビジネスデザイン実習(フィールドワーク実践)、イノベーションマネジメント論、コーポレートガバナンス、財務諸表分析、リスクマネジメント論、コーポレートファイナンス、生産管理論

[プログラム指定の選択科目] 「地域デザイン論、金融論、経営労務、計量経済学、アセット・マネジメント概論、アグリビジネス論」のうち3科目

[2] まちづくり×活力デザインプログラム

[選択必修] まちづくりデザイン基礎・実践・実装(フィールドワーク基礎・実践・実装)、地域デザイン論、パブリックマネジメント論、空間デザイン論、アグリビジネス論

[プログラム指定の選択科目] 「地域防災学、景観デザイン、資源マネジメント論、計量経済学、イノベーションマネジメント論、フードシステム論」のうち3科目

[3] 観光×交流デザインプログラム

[選択必修] 観光デザイン基礎・実践・実装(フィールドワーク基礎・実践・実装)、地域デザイン論、観光学、フードシステム論、資源マネジメント論

[プログラム指定の選択科目] 「景観デザイン、アグリビジネス論、イノベーションマネジメント論、経営労務、計量経済学、パブリックマネジメント論」のうち3科目

2 履修イメージ

フィールドワーク

卒業までに1.5年間のフィールドワークを2回実施します。長期のフィールドワークを体験することで、考え、行動する力を養います。1回目はフィールドワークの基礎を学び、2回目のフィールドワークでは、ビジネスデザイン実習、まちづくり実習、観光デザイン実習の3つのプログラムの中から1つを選んで履修します。

学年ごとの履修科目

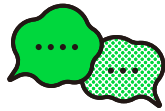
フィールドワークとは別に、1年次前半は主に教養科目・専門基礎科目、1年次後半及び2年次前半は主に専門基礎科目・専門必修科目、2年次後半及び3年次前半は主に専門必修科目・選択必修科目・選択科目、3年次後半は主に選択必修科目・選択科目を履修し、4年次には卒業研究を履修します。

1年生	2年生	3年生	4年生
教養・専門基礎	専門必修	選択必修・選択	卒業研究
マネジメント活動実習 [フィールドワーク] (企業編)	マネジメント実践実習 [フィールドワーク]	[1] ビジネス×継承デザイン 基礎・実践・実装 [2] まちづくり×活力 基礎・実践・実装 [3] 観光×交流デザイン 基礎・実践・実装 — いずれか1つを選択 [フィールドワーク]	
(観光・まちづくり編)			

3 型破りな実習

社会システム経営学環のカリキュラムの中で注目すべきは、その実習がこれまでにない型破りなことです。普通のカリキュラムでは、実習は半年間(1学期間)、長くても通年の取組みになりますが、本カリキュラムでは、1年半の期間を使ってじっくり取り組む大型の実習に

2回(合計3年間)取り組みます。さらにそのテーマは、実際に行政や企業などが抱える困りごとやニーズに対するもので、リアルな挑戦と試行錯誤の経験を積むことができます。こんな型破りな実践的カリキュラム、他にありますか？



[1] テーマを共有する

実社会の困りごとや要望を解決することをテーマにします。よく対話して、そのテーマを提供するパートナーのことを知ろう。これから取り組むプロジェクトの幕開けです！



[2] なりたち・しくみを理解する

表に見えていることだけで判断する前に、その状況にはどんな背景があるのか、徹底的に追及しましょう。情報収集、他の事例との比較、分析、議論から、その状況のなりたち、しくみを見える化します。



[3] 本当に大事なことを考える

状況が見えてきたら、やるべきことを考えよう。これから取り組むプロジェクトは、パートナーに、社会に、そして自分たちに、どんなよいことをもたらすでしょうか。本当に大事なことはなに？ビジョンを明確にします。



[4] 戦略をたてる

さあ、いよいよ具体化のための準備です。ビジョンに従って、ひとつひとつ課題を明確にし、実現の手立てを組み立てます。



[5] 小さく試してみる

机上であれこれ考えるよりも、小さなことでも実践すると目の前が開くことがあります。やる前の思い込みが吹っ飛びます。考えたプランを再チェックして作り込みます。



[6] 本気でやってみる

ここまで準備が整ったら、実践あるのみ！自分ごととして、本気で発信しましょう。イケそうなら、実習だと思わずに、起業してしまいましょう！

02 卒業後の進路

社会システム経営学環では、授業の中で企業や自治体等と綿密に連携を図っており、社会が求める人材像を教育課程に組み込んでいます。さらに、経営を学ぶことに加え、自ら事業を創出する力を

養い、支援する体制も整っています。このため、卒業後は、地域に貢献する企業や自治体をはじめ、以下のような分野での活躍を期待しています。

進路の例	具体的なイメージ
一般企業	<ul style="list-style-type: none"> 自社の強みを活かし社会課題を解決 顧客起点で新規事業を開発 大局的な観点で企業を支える
公務員	<ul style="list-style-type: none"> 長期的視点でグランドデザインを描ける 既存の枠組みに捉われず現場の声から施策を立案 地域に密着し人の顔が見える事業を構築
ファミリービジネスの後継者	<ul style="list-style-type: none"> 経営理念を守りながら時代の変化に適應 地域に根差した新たな製品・サービスを作る 地域を跨いだ企業間の繋がりを作る

進路の例	具体的なイメージ
観光地経営 コンサルタント (日本版DMO) NPO法人	<ul style="list-style-type: none"> 新たな地域資源を創造する 行政や企業ができない"隙間"をビジネスで繋ぐ 地域課題を人と企業の繋がりで解決
起業家	<ul style="list-style-type: none"> シーズベースの新規ビジネスを生み出す ニーズベースの新規ビジネスを生み出す 現場ベースのイノベーションを起こす
進学	<ul style="list-style-type: none"> 持続可能な社会の実現について考える 1つの学問に捉われない 実社会の問題から課題を抽出しまとめる

03 入試について

※詳細については必ず募集要項をご確認ください。

1 重視する人物像

一般選抜（前期日程）

- ・国内外の社会全般に高い関心を持ち、基礎的学力を十分に備えている人
- ・理解力に富み、論理的な思考ができる人
- ・知的好奇心にあふれ、自ら課題を理解し、解決策を探究しようとする人

学校推薦型選抜II

- ・相手の意見を聴き、自分の考えを伝えて、協働することができる人
- ・積極的に行動することをいとわず、多くの経験を積むことを楽しむ人
- ・知的好奇心にあふれ、自ら課題を理解し、解決策を探究しようとする人

2 募集人員

一般選抜（前期日程）

15名

学校推薦型選抜II

15名

3 選抜方法

一般選抜（前期日程）

[1] 大学入学共通テスト

- ・基礎学力の評価

[2] 小論文

- ・課題発見
- ・論理的思考力
- ・自分の考えを伝達する力

[3] 調査書

- ・思考力
- ・判断力
- ・表現力及び主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度

[4] 個別学力試験

- ・英語あるいは数学

学校推薦型選抜II

[1] 大学入学共通テスト

- ・基礎学力の評価

[2] 小論文

- ・課題発見
- ・論理的思考力
- ・自分の考えを伝達する力

[3] 調査書

- ・思考力
- ・判断力
- ・表現力及び主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度

[4] 面接

- ・課題発見
- ・論理的思考力
- ・コミュニケーション能力（傾聴力、伝達力、協働力）

4 入試区分ごとの選抜方法のねらい

選抜方法	一般選抜（前期日程）	学校推薦型選抜II
大学入学共通テスト	高等学校段階における基礎的な学習の達成の程度を判定する。	
個別試験	個別学力試験では英語あるいは数学を課すことで、応用的学力が修得できていることを評価する。	
小論文	課題発見、論理的思考力、自分の考えを伝える力を総合的に評価する。	
面接		面接試験により課題発見・論理的思考力・コミュニケーション能力（傾聴力、伝達力、協働力）が備わっていることを評価する。
調査書	高等学校までの学習過程で養成された学力の三要素（1. 知識・技能、2. 思考力・判断力・表現力、3. 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度）の評価を実施する判断材料とする。	

5 配点

	大学入学共通テスト						小計 [1]	個別 学力試験	小論文	面接	小計 [2]	合計 [1] + [2]
	国語	地歴・公民	数学	理科	外国語	情報						
一般選抜 [前期日程]	100	100 (50)	100	50 (100)	100	50	500	200	200		400	900
学校推薦型 選抜II	100	100 (50)	100	50 (100)	100	50	500		200	200	400	900

※令和7年度（令和6年度実施）入学者選抜から、大学入学共通テストの利用教科に「情報」が加わります。

04 Q and A

Q-1 学部じゃなくて学環？

A-1

これまでは、入りたい学部をひとつ選んで入学し、その学部に所属して4年間学ぶことが当たり前でした。ひとつの専門性は深まりますが、新しい社会の仕組み・ライフスタイルを創造するためには、今までの学問分野の枠組みを超えて、総合的に考え・学ぶことが求められています。そこで、新たな枠組みとして登場したのが、「学環」です。岐阜

大学の社会システム経営学環では、既存の学部を横断するような力タチで組織をつくり、現実の問題に向き合う総合的な力を学びます。まさに、社会を取りまくビジネス・まちづくり・観光の課題に学生と教員が一緒になって成長する「学び」の「環(わ)」となります。

Q-2 3つのプログラムでは何を学ぶのか？

A-2

3つのデザインプログラムでは、それぞれ次のことを学びます。「ビジネス×継承デザインプログラム」では、従来の経営学分野の研究、つまり企業の経営目標のために資源を効率的に活用して成果を得る方法論を学びます。「まちづくり×活力デザインプログラム」では、さま

ざまな立場が協働する持続的な地域経営を考え、場所の価値を高める仕事の作り方を学びます。「観光×交流デザインプログラム」では、観光が生み出す価値に着目し、地域資源を活用して地域ブランドを構築し企画立案を行うスキルを学びます。

Q-3 入学者に求めることは何ですか？

A-3

本学環では、民間企業、自治体、NPOなどで新たな事業に挑戦し、社会に貢献する学生を育てたいと考えています。そのために、次のような人を求めます。

- ① 国内外の社会全般に高い関心を持ち基礎的学力を十分に備えている人
- ② 理解力に富み論理的な思考ができる人
- ③ 相手の意見を聴き自分の考えを伝えて協働することができる人
- ④ 積極的に行動することをいとわず多くの経験を積むことを楽しむ人
- ⑤ 知的好奇心にあふれ自ら地域の課題を理解し、解決策を探究しようとする人

Q-4 卒業後はこういった就職先がある？

A-4

本学環では、授業の中で企業や自治体等と綿密に連携を図ることで、社会が求める人材像を教育課程に組み込んでいます。卒業後は、地域に貢献する企業や自治体に就職するだけでなく、グローバル企業で働きつつも地域社会に貢献することが想定されます。また、起業やパ

ラレルキャリアといった選択肢もあります。パラレルキャリアとは、主の仕事以外に副業を持つことや、非営利活動に参加することによる多様な働き方です。本学環では、企業経営を学ぶことに加え、自ら事業を創出する力も養い、支援する体制が整っています。

SCHOOL OF SOCIAL SYSTEM MANAGEMENT

※岐阜大学では、令和元年8月に学校教育法施行規則及び大学設置基準等の一部が改正になったことにより新たに設けられた学部等連係課程制度に則った学士課程である社会システム経営学環を設置しました。社会システム経営学環は学部相当の組織であり、卒業時に「学士（経営学）」の学位が授与されます。

[学生募集要項の入手方法]

「一般選抜学生募集要項」「学校推薦型選抜II（共通テストを課す）学生募集要項」の配布時期は11月下旬です。冊子での配布は行いません。時期になりましたら岐阜大学ホームページ上に電子ファイルを掲載しますので、各自ダウンロードしてご利用ください。

<https://www.ssm.gifu-u.ac.jp/>



Homepage



X

[お問い合わせ]

岐阜大学 社会システム経営学環
〒501-1193 岐阜県岐阜市柳戸1-1 岐阜大学
MAIL: keiei@t.gifu-u.ac.jp
TEL: 058-293-3440 FAX: 058-293-3441

MAKE NEW STANDARDS.
東海国立
大学機構

